

一般質問発言通告書

発言順位 2 番

下記事項について質問をしたいので、会議規則第51条第1項の規定により通告します。

令和3年 6月 8日

三島市議会議員 川原章寛 様

三島市議会議員 8 番 大石一太郎



質問事項 1	地域公共交通の現状と将来的ネットワーク形成への取り組みについて
具体的内容	<p>少子高齢化・人口減少社会による影響が、地域公共交通に現れています。三島市郊外の旧集落や団地の高齢化と人口減少に伴い、利用者減が続く路線バスの撤退と交通空白地域の存在等、市民生活の確保と超高齢社会における今後の交通ネットワーク形成について伺います。</p> <p>1 各事業者の路線数及び利用者数並びに本数の10年前と直近での推移比較と過去の退出路線、今後退出を検討している路線はあるのか、運行に関わる概ねの経営収支状況について、また佐野見晴台線の現状と今後の課題、路線退出の話が出ている東大場・錦が丘線について、バス事業者の経営の現状と今後の課題等、運航継続に向けた市の方針について併せて伺います。</p> <p>2 自主運行バス事業3路線、循環運行バス事業2路線、生活交通バス2路線の利用者及び本数の10年前と直近での推移比較と、利用状況から運行体系の見直し・変更を検討している路線はあるのか。また運行路線の概ねの経営収支状況、運行経費に対する過去10年間の国県補助金と市補助金の累計額について伺います。更に線継続に当たりの稼働率・収支率等運航継続基準について併せて伺います。</p> <p>3 市内と錦田地区を繋ぐコミュニティバス(錦田号)と(箱根号)の開設の考えはないか伺います。</p> <p>4 交通空白地域解消に向けた、デマンドタクシー活用の検討経過と導入について、地区からの要望も上がっており、市の今後の取り組みについて伺います。</p> <p>5 三島市地域公共交通網形成計画における事業内容、「C-路線に関する事業」の中間評価について伺います。</p> <p>6 路線バス・コミュニティバス等地域公共交通の体系整備と生活の利便性向上に向け、取り組むべき将来への地域課題と対応について伺います。</p>
質問事項 2	ケアラー・ヤングケアラーの存在と認識、地域課題への対応について
具体的内容	<p>介護の社会化、家族介護を軽減するため介護保険制度が出来ましたが、私達は、今だ家族のことは家族が面倒を見て当然とする家族主義から抜けきれていません。聞きなれない言葉としてのヤングケアラーの存在と、家族介護の大変さが国の調査で明らかになりました。社会的認識から欠落していた見えにくい存在の顕在化、子供達が家族を介護するには限界があります。</p> <p>子どもを家庭の介護力とせず、青春は一度だけ、子供らしく勉強に遊びに楽しむ環境づくり、社会全体でヤングケアラーを支援していく体制づくりについて伺います。</p> <p>1 地域におけるケアラー及びヤングケアラーの存在と認識の周知について伺います。</p> <p>2 国のヤングケアラーの実態調査結果による新たな地域課題に対し、市としての実態調査の必要性について、また把握されている事例はあるのか伺います。</p> <p>3 ケアラー・ヤングケアラー支援に向けての支援策と介護職の確保の見通しについて伺います。</p> <p>4 権利擁護と支援のためヤングケアラーを支援する条例化について伺います。</p>